

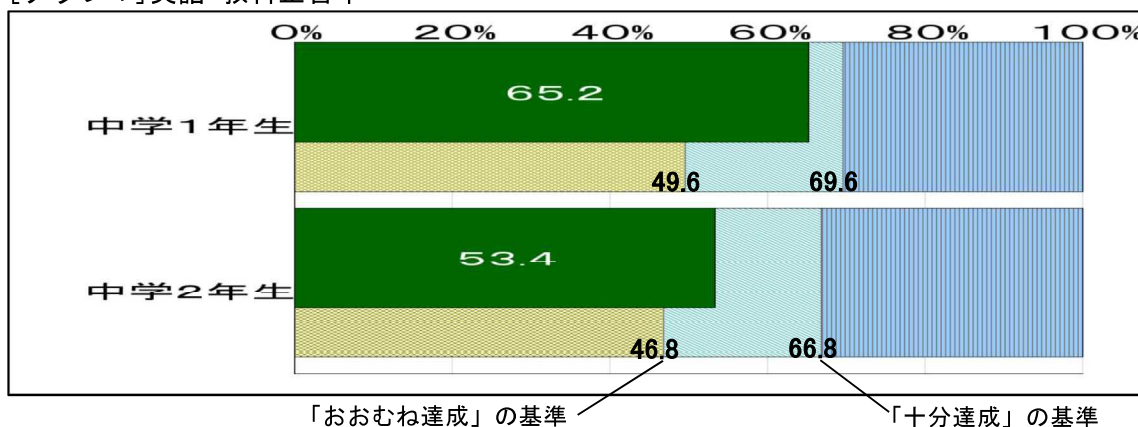
Ⅲ 教科ごとの調査結果とその分析

英 語

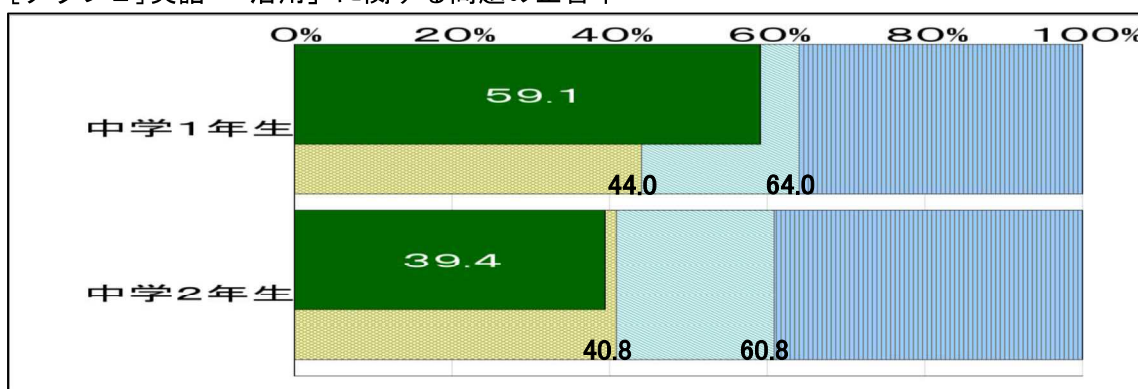
(1) 結果の概要

- 教科正答率は、全ての学年で「おおむね達成」を上回っている。[グラフ1]
- 「活用」に関する問題については、中学2年生で「おおむね達成」の基準を下回っている。[グラフ2]
- 観点別に見ると、「外国語表現の能力」については、中学1年生で「おおむね達成」の基準を上回っており、中学2年生で「おおむね達成」の基準を下回っている。「外国語理解の能力」については、全ての学年で「おおむね達成」の基準を上回っている。「言語や文化についての知識・理解」については、中学1年生で「おおむね達成」の基準を上回っており、中学2年生で「おおむね達成」の基準を下回っている。[グラフ3～5]
- 内容・領域別に見ると、「聞くこと」については、全ての学年で「十分達成」の基準を上回っている。「読むこと」については、全ての学年で「おおむね達成」の基準を上回っている。「書くこと」については、中学1年生で「おおむね達成」の基準を上回っており、中学2年生で「おおむね達成」の基準を下回っている。[グラフ6、7]

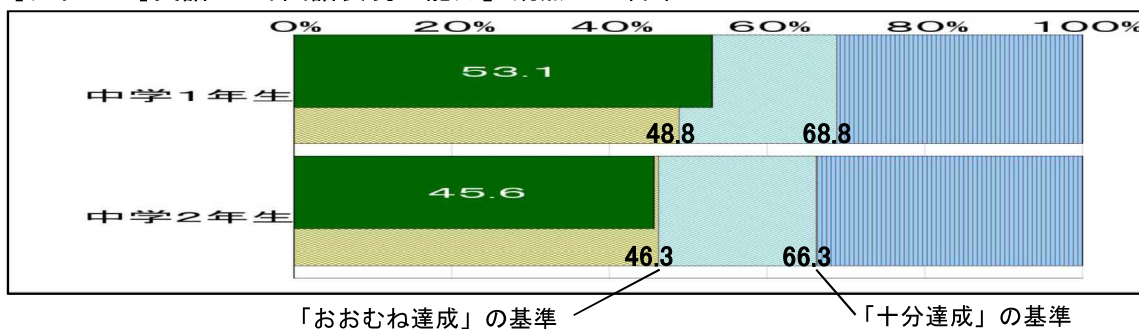
[グラフ1] 英語 教科正答率



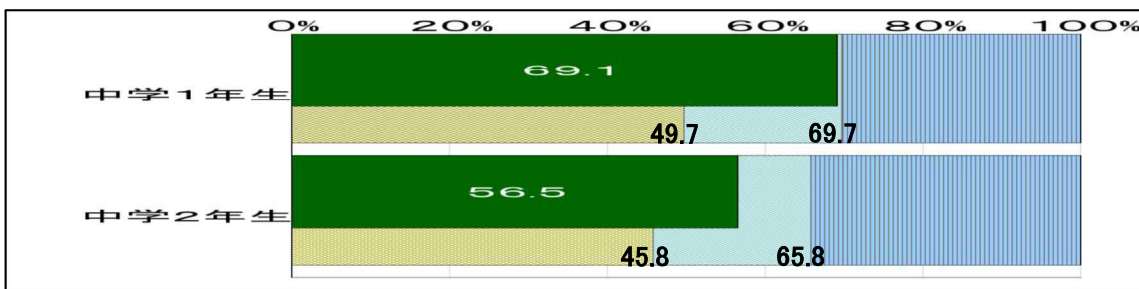
[グラフ2] 英語 「活用」に関する問題の正答率



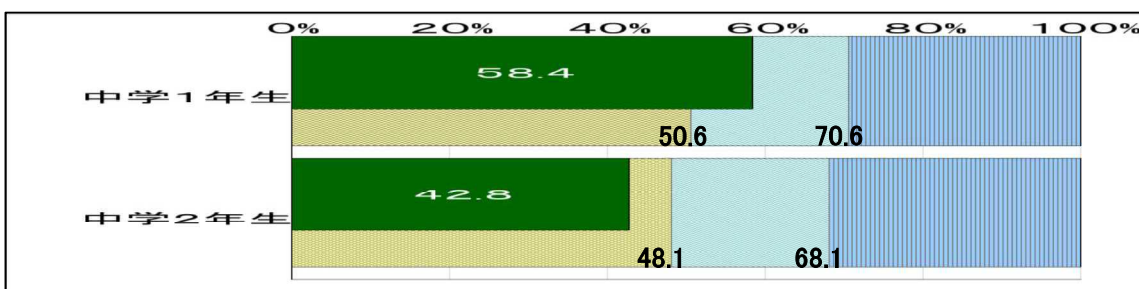
[グラフ3] 英語 「外国語表現の能力」 観点の正答率



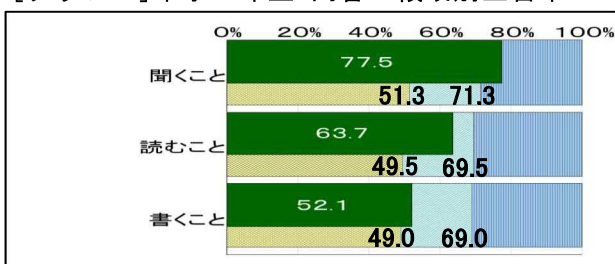
[グラフ4] 英語 「外国語理解の能力」 観点の正答率



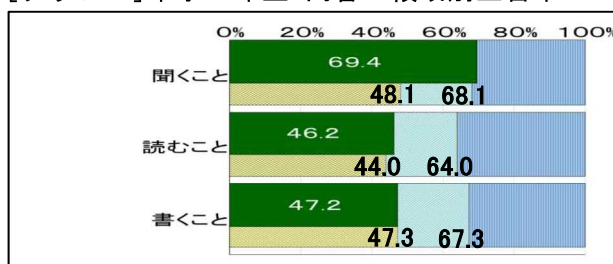
[グラフ5] 英語 「言語や文化についての知識・理解」 観点の正答率



[グラフ6] 中学1年生 内容・領域別正答率



[グラフ7] 中学2年生 内容・領域別正答率



(2) 成果と課題及び指導改善のポイント

中学校英語（中学1年生、中学2年生）

成果(◇)と課題(◆)

- ◇ 対話を聞いて、適切に応じる力が、1年生で身に付いており、2年生では、同一学年の経年比較をすると、平成28年度[12月調査]から改善の傾向が見られる。
(「十分達成」の基準を1とした場合・・・H28:0.78→H29:1.05)※1 (中学1年生³、中学2年生²)
- ◇ 自然な口調で話される英語や対話を聞いて、概要や必要な情報を理解することができる。
(中学1年生²、中学2年生¹ ³(1))
- ◆1 対話文を読んで、話し手の意図や伝えようとしていることを正確に読み取ることに課題が見られる。
(中学1年生⁷(2)、中学2年生⁶(1)AB)
- ◆2 疑問文の構造を理解し、語と語のつながりに注意して、状況に合った文を正しく書くことに課題が見られる。
(中学1年生¹⁰(2)、中学2年生⁸)
- ◆3 読み取った対話の展開や発言の内容を根拠に、登場人物のこの後の言動を推測することに課題が見られる。
(中学2年生⁶(2))

※1 平成28年度佐賀県小・中学校学習状況調査[12月調査]Web報告書 参照

指導改善のポイント（次の視点から授業を振り返り、チェック☑してみましょう。）

- ◆1 対話文を読んで、話し手の意図や伝えようとしていることを正確に読み取ることができるようにするためには、本文を読解する学習において、次のような指導を行うことが大切です。
 - 書かれている情報を問う「事実発問」、書かれている情報を基に書かれていない状況を推測させる「推論発問」、書かれている内容に関して、生徒自身がどう考えるかを問う「評価発問」といった発問構成を意識して発問をしていますか。
 - 生徒が発問に対する答えを考えたときに、本文中に印を付けたり、メモを取ったりしながら分かるまで繰り返し読むように指導していますか。
 - 生徒が発問に対する答えを発表したり、書いたりするような活動を設定していますか。
 - 生徒が発問に対する答えの根拠を述べたり、書いたりするように指導していますか。
 - 本文に書かれている内容に関する自分の意見や感想を、ペアやグループで意見交換するような活動を設定していますか。
- ◆2 疑問文の構造を理解し、語と語のつながりに注意して、状況に合った文を正しく書くことができるようにするためには、次のような指導を行うことが大切です。
 - Input（導入の場面）において、Teacher Talk を用いるなどして、生徒が表現の意味や使用場面について考えることができるようにしていますか。
 - 教科書の基本文や本文を扱うときに、状況を推測させるような発問をしていますか。
 - Intakeにおいて、実際のコミュニケーション場面を想定した言語活動を設定し、生徒が試行錯誤しながら、発話を考えることができるような機会を設けていますか。
 - Outputにおいて、「原稿を書いて、発表する」「友達の発話した内容について感想を言う」「英文を読んで、感想を述べ合う」など、複数の技能を統合した言語活動を設定していますか。
 - 生徒が記述した英文は、教師がチェックし、適時に Feedback していますか。
 - Outputにおける言語活動では、録画した生徒の発話の様子を視聴させたり、自分が発話した英文を記述させたものを教師がチェックして生徒に Feedback したりするなど、生徒自身が自分の発話した内容を振り返り、見直すことができるような工夫を行っていますか。
- ◆3 読み取った対話の展開や発言の内容を根拠に、登場人物のこの後の言動を推測できるようにするためには、次のような指導を行うことが大切です。
 - 教科書の本文や基本文に記されている場面や状況を基に、生徒が、登場人物のやりとりからイメージを膨らませて、発話を付加するような活動を設定していますか。
 - 発話を付加した英文を互いに発表し合い、Sharing する中で、友達の発表に対して、視点に基づく気づきや感想を述べたり書いたりするような活動を設定していますか。



他にも、ヒントがいっぱい。ぜひ、こちらもご活用ください！ → [ここをクリック](#)

佐賀県教育センターの「プロジェクト研究」では、新学習指導要領で示された三つの資質・能力を育成するために、日々の授業をどのように改善すればよいかを提案しています。質的改善のための具体的な手立て(方法)とその手立てに基づいた質的改善の営みを紹介していますので、ぜひ、ご活用ください。

(3) 各学年の設問ごとの正答率

[表1] 中学校1年生 英語 出題の趣旨、問題形式、正答率等一覧

集計結果

※「◎」は「十分達成」、「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準		到達状況
				十分達成	おおむね達成	
県	7,003	65.2	4.8	69.6	49.6	

分類・区別集計

分類	区分	対象設問数(問)	県正答率	県無解答率	到達基準		到達状況
					十分達成	おおむね達成	
学習指導要領の内容・領域等	聞くこと	8	77.5	0.3	71.3	51.3	◎
	読むこと	10	63.7	5.6	69.5	49.5	
	書くこと	10	52.1	8.5	69.0	49.0	
評価の観点	①表現	8	53.1	9.9	68.8	48.8	
	②理解	16	69.1	3.6	69.7	49.7	
	③言語・文化	9	58.4	7.0	70.6	50.6	
問題形式	選択式	12	77.0	0.6	70.0	50.0	◎
	短答式	6	55.7	8.5	70.8	50.8	
	記述式	8	54.6	8.4	68.1	48.1	
活用	「活用」に関する問題	5	59.1	5.8	64.0	44.0	

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等			評価の観点			問題形式	活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		聞くこと	読むこと	書くこと	①表現	②理解	③言語・文化					十分達成	おおむね達成	
1	(1) 絵から読み取った情報と関連付けて、英語の質問に答える	○				○				81.3	0.1	75	55	◎
1	(2) 絵から読み取った情報と関連付けて、英語の質問に答える	○				○				70.7	0.2	75	55	
1	(3) 対話を聞いて、必要な情報を理解する	○				○		○		61.7	0.9	75	55	
2	(1) 対話を聞いて、概要を理解する	○				○				88.0	0.2	70	50	◎
2	(2) 対話を聞いて、概要を理解する	○				○				76.8	0.2	70	50	◎
3	(1) 対話を聞いて、適切に応じる	○				○				94.3	0.2	70	50	◎
3	(2) 対話を聞いて、適切に応じる	○				○				72.2	0.3	70	50	◎
4	聞いて得た複数の情報を関連付けながら理解する	○				○		○		75.0	0.3	65	45	◎
5	(1) 対話文を読んで、相手の応答を基に発言の内容を捉える	○				○				73.5	0.7	70	50	◎
5	(2) 対話文を読んで、相手の意向を理解し、適切に応じる	○				○				75.5	0.6	70	50	◎
6	説明文を読んで得た複数の情報とグラフから読み取った情報を関連付けながら理解する	○				○				70.3	0.9	70	50	◎
7	(1) 対話文を読んで、話の展開と人物の心情を関連付けて理解する	○				○				81.7	1.0	70	50	◎
7	(2) 対話文を読んで、人物の意図をつかむ	○				○		○		41.9	8.2	65	45	▼
8	(1)ア 対話文を読んで、大切な部分を理解する	○				○				74.1	14.3	70	50	◎

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の 内容・領域等				評価の観点			問題形式		活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待 正答率		到達状況
		聞くこと	読むこと	書くこと		①表現	②理解	③言語・文化	選択式	短答式				記述式	十分達成	
8	(1)イ 対話文を読んで、大切な部分を理解する	○				○			○			71.8	10.5	70	50	◎
8	(2) 対話文を読んで、その後の展開を捉える	○				○			○	○		64.3	2.5	65	45	
9	(1) 対話文を読んで内容を理解し、適切な語を書く	○	○			○	○		○			43.5	6.3	75	55	▼
9	(2) 対話文を読んで内容を理解し、適切な語を書く	○	○			○	○		○			40.9	10.9	70	50	▼
10	(1) 疑問文の構造を理解し、状況に合った文を正しく書く		○			○	○			○		45.2	12.1	65	45	
10	(2) 疑問文の構造を理解し、状況に合った文を正しく書く		○			○	○			○		38.5	17.1	65	45	▼
11	(1) 対話文を読んで、語と語のつながりに注意して正しい語順で書く		○				○			○		36.7	2.5	70	50	▼
11	(2) 対話文を読んで、語と語のつながりに注意して正しい語順で書く		○				○			○		59.7	3.2	70	50	
12	(1) 質問の答えを適切な表現を用いて書く		○			○	○			○		71.4	6.0	75	55	
12	(2) 質問の答えを適切な表現を用いて書く		○			○	○			○		70.7	8.8	75	55	
12	(3) 質問の答えを適切な表現を用いて書く		○			○	○			○	○	51.7	12.6	65	45	
13	自分の好きなこと（もの）を紹介する内容的にまとまりのある一貫した文章を書く	○				○				○	○	62.9	5.2	60	40	◎

[表2] 中学校2年生 英語 出題の趣旨、問題形式、正答率等一覧

集計結果

※「◎」は「十分達成」、「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準		到達状況
				十分達成	おおむね達成	
県	7,063	53.4	8.8	66.8	46.8	

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数(問)	県正答率	県無解答率	到達基準		到達状況
					十分達成	おおむね達成	
学習指導要領の内容・領域等	聞くこと	8	69.4	1.1	68.1	48.1	◎
	読むこと	10	46.2	12.8	64.0	44.0	
	書くこと	11	47.2	12.3	67.3	47.3	▼
評価の観点	①表現	8	45.6	15.5	66.3	46.3	▼
	②理解	18	56.5	7.6	65.8	45.8	
	③言語・文化	8	42.8	13.5	68.1	48.1	▼
問題形式	選択式	13	67.3	1.2	67.7	47.7	
	短答式	5	42.3	12.4	66.0	46.0	▼
	記述式	10	41.0	17.0	66.0	46.0	▼
活用	「活用」に関する問題	6	39.4	16.6	60.8	40.8	▼

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等			評価の観点			問題形式		活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		聞くこと	読むこと	書くこと	①表現	②理解	③言語・文化	選択式	短答式				十分達成	おおむね達成	
1	(1)① 自然な口調で話される英語を聞いて、必要な情報を理解する	○			○			○			76.0	0.4	75	55	◎
1	(1)② 自然な口調で話される英語を聞いて、必要な情報を理解する	○			○			○			91.5	0.3	75	55	◎
1	(2) 自然な口調で話される英語を聞いて、必要な情報を理解する	○			○			○			73.1	5.4	70	50	◎
2	(1) 対話の中の質問を聞いて、適切に応じる	○			○			○			69.5	0.5	70	50	
2	(2) 対話の中の質問を聞いて、適切に応じる	○			○			○			71.8	0.4	65	45	◎
3	(1) まとまりのある英語を聞いて、話し手が伝えたいことや聞き手として必要な情報を理解する	○			○			○			71.0	0.4	65	45	◎
3	(2) まとまりのある英語を聞いて、話し手が伝えたいことや聞き手として必要な情報を理解する	○			○			○			64.7	0.5	65	45	
4	まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解する	○			○			○	○		37.5	0.7	60	40	▼
5	(1) 対話の展開を読み取り、登場人物の心情が変化した理由となる相手の発言を捉える	○			○			○			66.3	8.8	65	45	◎
5	(2) 対話の展開を読み取り、絵から読み取った情報と関連付けて、その後の展開を考える	○			○			○			80.6	1.1	65	45	◎
6	(1)A 対話文を読んで、話し手の伝えようとしていることを正確に読み取る	○			○			○			39.8	13.1	65	45	▼
6	(1)B 対話文を読んで、話し手の伝えようとしていることを正確に読み取る	○			○			○			8.4	18.9	65	45	▼
6	(2) 読み取った対話の展開や発言の内容を根拠に、登場人物のこの後の言動を推測する	○			○			○	○		27.9	37.4	60	40	▼
7	(1) 説明文を読んで、話し手の伝えようとしていることを正確に読み取る	○			○			○			69.0	2.0	70	50	

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の 内容・領域等				評価の観点			問題形式		活用 「活用」 に関する問題	県 正答率	県 無解答率	期待 正答率		到達 状況
		聞く こと	読む こと	書く こと		① 表現	② 理解	③ 言語・ 文化	選択 式	短答 式				記述 式	十分 達成	
7	(2)	説明文を読んで、大切な部分を正確に理解する	○						○			24.0	15.5	65	45	▼
7	(3)	意見の内容を理解し、意見に対する賛否を、その理由から判断する	○						○	○		45.4	3.0	60	40	
8	(1)	疑問文の構造を理解し、語と語のつながりに注意して正しく書く		○						○		41.1	25.1	65	45	▼
8	(2)	疑問文の構造を理解し、語と語のつながりに注意して正しく書く		○						○		19.9	23.3	65	45	▼
9	(1)	対話文を読んで、語と語のつながりに注意して正しい語順で書く		○						○		57.6	2.8	70	50	
9	(2)	対話文を読んで、語と語のつながりに注意して正しい語順で書く		○						○		62.6	4.1	70	50	
9	(3)	対話文を読んで、語と語のつながりに注意して正しい語順で書く		○						○		34.3	4.3	70	50	▼
10	(1)	一文の前半の内容と後半の内容の関連に注意を払い、全体として一貫性のある文を作る		○						○		62.3	1.2	70	50	
10	(2)	一文の前半の内容と後半の内容の関連に注意を払い、全体として一貫性のある文を作る		○						○		75.1	1.2	70	50	◎
11	(1)	質問の答えを適切な表現を用いて書く		○						○		40.8	15.1	75	55	▼
11	(2)	質問の答えを適切な表現を用いて書く		○						○	○	32.6	18.0	65	45	▼
11	(3)	質問の答えを適切な表現を用いて書く		○						○	○	53.1	15.6	65	45	
12	(1)	A L T が書いたレポートの内容を正しく理解する	○							○		60.7	3.5	70	50	
12	(2)	書かれた内容を踏まえたコメントと質問を書く	○	○						○	○	39.8	24.7	55	35	

(4) 地域別の状況

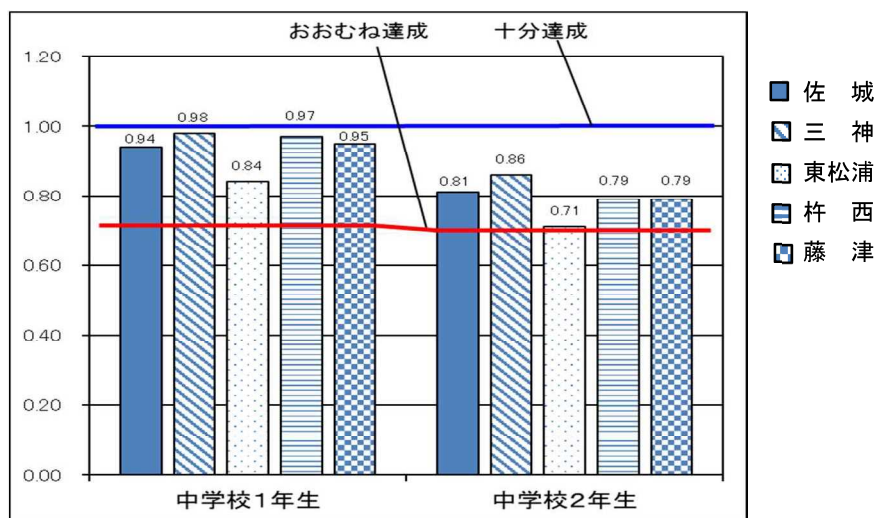
- 県内5地域における学年別平均正答率の「十分達成」に対する状況は、中学校1年生、中学校2年生ともに5地域とも「おおむね達成」の基準に達している。

[グラフ8]

- 県内5地域における学年別平均正答率の対県比は[表3]のとおりで、中学校1年生、中学校2年生ともに地域差が大きい。また、平成28年度12月調査と比べて中学校1年生、中学校2年生ともに地域差が拡大している。

[グラフ8] 県内5地域における学年別平均正答率の「十分達成」に対する状況

※ 各学年における「十分達成」の到達基準を1.00として算出



[表3] 県内5地域における学年別平均正答率の対県比

学年・教科	実施年度	対県比(地域平均正答率/県平均正答率)					地域差	
		佐城	三神	東松浦	杵西	藤津		
中学校1年生	英語	H29[12月]	1.00	1.05	0.90	1.03	1.01	▲ 拡 0.15
		H28[12月]	1.00	1.04	0.92	1.02	1.00	▲ 0.12
中学校2年生	英語	H29[12月]	1.02	1.08	0.89	0.99	0.98	▲ 拡 0.19
		H28[12月]	1.00	1.05	0.94	1.00	0.98	▲ 0.11

※ 「対県比」は、県平均正答率を1.00として算出

※ 「地域差」は、対県比の最大値と最小値の差を表す

※ 「▲」は、地域差が0.10以上の教科を示す

※ 「縮」は、平成28年度[12月調査]より地域差が縮小した教科を、「拡」は拡大した教科を示す

※ 地域及び市町名

地域名	市町名
佐城	佐賀市、多久市、小城市
三神	鳥栖市、神崎市、吉野ヶ里町、基山町、みやき町、上峰町
東松浦	唐津市、玄海町
杵西	武雄市、伊万里市、白石町、大町町、江北町、有田町
藤津	鹿島市、嬉野市、太良町